

前回の会議での意見と検討状況

	意見	検討結果
中心市街地の活性化について	中心市街地の問題について、行政は先頭に立つのではなく、応援する側に回り、民間主導で取り組むような施策が必要である。	P 7 8 の実施施策②「中心市街地の活性化」に、「民間の活力を活かしつつ」の文言を加えました。
人権と多様性について	L G B T Q という言葉を総合戦略に記載すべき。	P 9 1 の基本施策 3 を「国際協力・地域連携の推進」から「人権尊重と地域連携の推進」に変更、実施施策①を「多文化共生の推進」から「共生社会の実現」に変更し、「人権擁護（L G B T Q を含む）に関する理解を深める事業を実施する」と「住民同士の相互理解を図り、全ての市民が居場所と役割を持ち、ともに生きる共生社会の実現を目指します」の文言を加えました。
	K P I に「多様性に関する研修受講率」を設けるとよい。	P 9 1 基本施策 3 「人権尊重と地域連携の推進」の K P I に「人権(L G B T Q を含む)に関する職員研修参加者数」を追加しました。
子どもの貧困問題について	貧困により子どもたちが文化に触れられないことは非常に大きな問題。解決策について何か記載できないか。	P 6 6 実施施策②「出産・子育ての負担軽減」の主要な事業に「準要保護家庭・ひとり親家庭児童学習支援事業」、「小中学校要・準要保護児童生徒援助事業」を追加しました。 なお、女性が輝くまちを P 3 8 重点施策や P 4 9 基本施策 4 に掲げ、女性のキャリアアップやエンパワーメントの支援にも取り組むこととしており、貧困状態に陥りがちなひとり親家庭（母子世帯）の所得向上など生活環境の改善にもつながるものと考えます。

<p>情報発信について</p>	<p>いかに鯖江の魅力を感じてもらうか、どこかの課が取りまとめて戦略的に発信していくことが重要。また、何か目標等が掲げられないか。</p>	<p>秘書広報課が「シティプロモーションガイドライン」に基づき、関係各課と連携して効果的な情報発信に取り組んでいます。なお、P 5 7基本施策2「さばえファン（関係人口）の獲得」のK P I「関係人口」は、特定の地域に継続的に多様な形で関わる、交流人口以上、定住人口未満である鯖江ファンの獲得につながる事業への参加者数であり、本市の魅力の戦略的発信の成果を測る指標としても適当であると考えます。</p>
<p>I Tの推進について</p>	<p>オープンデータが削除されている。もっと積極的にI Tを推進していることをアピールしてもいいのではないか。</p>	<p>P 7 6基本施策1「デジタルファーストの推進」のK P Iに「オープンデータ活用アプリ数」、「オープンデータ公開数」を追記しました。また、P 7 7実施施策②「データの利活用」に「オープンデータを積極的に推進するとともに」の文言を加え、主要な事業に「オープンデータの活用推進事業【Society5.0】」を追加しました。</p>
<p>その他</p>	<p>1期目の総括があった上で、第2期目を考えていく必要がある。</p>	<p>P 3 4に「第1期総合計画の成果と課題」を追加しました。</p>